

—
 土壤医の会全国協議会

土壤医の会 通信

2020年
 第4・5合併号



- 2020年度土壤医検定試験願書受付中
 締切迫る（12月15日）！
 ～土壤医検定試験対策研修会用テキスト販売中～
- 土壤医の会全国協議会2020年度第4回全国交流大会
 2020年度表彰者
 農林水産省生産局長賞は市原知幸氏
- データ駆動型土づくり推進事業特集
 ～千葉県チームのご紹介～

2020年度土壤医検定試験願書受付中です

締切りは12月15日(火)です（郵送は当日の消印有効）。

お申し込みの際は、会場の変更等にご注意くださいますようお願い致します。

詳細は土壤医検定試験公式サイトをご覧ください。

<http://www.doiken.or.jp/app.html>

*1級受験の皆様へ

1級参考書が改訂されて新しく加わった項目からも出題が予想されます。チェックをお忘れなく！



↑11月24・25日に1級レベルの研修会が行われました。



チャレンジ！土づくりのプロになろう


土壤医検定

1級

2級

3級

検定試験日
 2021年
2月14日
 (日)



岐阜県立加茂農林高等学校のみなさん

詳細は土壤医検定の
ホームページをご覧ください

土壤医検定 検索

<http://doiken.or.jp/>

主催：一般財団法人日本土壤協会 後援：農林水産省
東京都千代田区神田神保町1-58 バビロビル6階 TEL 03-3292-7281 http://www.japan-soil.net

全国農業協同組合中央会 全国農業協同組合連合会 全国農事大学校協同会
 全国農業高等学校長協会 日本農業協同組合連合会 日本生産協同組合連合会
 一般社団法人 全国肥料流通協会 土壤医の会全国協議会 全国土壤改良資料協議会

自宅で研修会を受講できるサービス提供 ただいま準備中！

2020年度土壤医検定2・3級受験対策のための研修会自宅受講教材（インターネット配信＋研修会テキスト）の準備を進めています。インターネット使用環境が無い方と1級を目指している方には、研修会テキスト(1級、2・3級)の販売も致しますので、ご利用ください（詳細はホームページに近日掲載する予定です）。

試験当日に実力を発揮できるよう、体調管理に十分お気を付けください。
 がんばって！

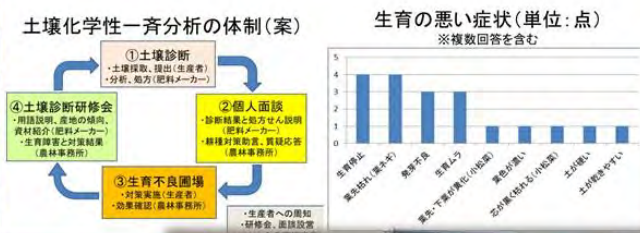


土壤医の会全国協議会第4回全国交流大会 2020年11月30日

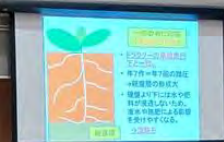
今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、日比谷図書文化館小ホールにおいて、関係者のみでの開催となりました。交流大会では、優良土づくり推進活動の表彰式が行われ、岐阜県西濃農林事務所農業普及課の市原知幸氏が農林水産省生産局長賞を受賞しました。



【農林水産省生産局長賞】
市原知幸氏
「土壌診断による施設野菜類の生育改善」



農林水産省 生産局長賞



列になって各障害が発生する事例

発芽・生育・伸長不良
葉の黄化

	EC
生育良好	0.24
不良(一部列)	0.09

土壤協会会長賞の受賞者は以下の方々です。

【個人部門】

- ・金原伸大氏(石狩農業改良普及センター)「子実用とうもろこしの土づくり効果の確認」
- ・森昭暢氏(安芸の山郷農園はなあふ)「有機農業における多品目野菜・米の安定生産に向けた取組み」

【土壤医の会部門】

- ・青柳敦子氏ほか2名(片倉コープアグリ土壤医の会)「トマト青枯病の総合防除対策」
- ・高山晃氏代表(首都圏土壤医の会)「2019年度活動実績」

受賞された方の活動報告の様子です

冬の講習会(H30)

夏の講習会(R2)

活動経過

H30	「分解には2年はかかる」と農業者へ説明
R1	視点を変えた調査(不耕起での大豆) → 実験に失敗
R2	すき込み2年後調査 → 効果を実証!

栽培面積 (t/ha)

調査年度	江別市	千歳市	合計
H29	4.1	7.4	11.5
H30	8.0	31.3	39.3

土壤協会会長賞 石狩農業改良普及センター 金原 伸大 氏
子実用とうもろこしの土づくり効果の確認

実際の取組み 草生栽培 (はなあふ)

前作

後作

- 雑草、緑肥の利用
- 連作障害の軽減
- 生物性↑
- 物理性↑
- 化学性↑
- 作業効率↑
- 緑のネットワーク
- 土壌浸食の防止
- 微気象調節効果
- 土壌水分調節効果

雑草は無限の地域資源
⇒ 光エネルギーを化学エネルギーに変換、蓄積
圃場内で有機物を生産、循環し農地生態系を育む

土壤協会会長賞 安芸の山郷農園はなあふ 森 昭暢 氏
有機農業における多品目野菜・コメの安定生産に向けた取組み

土壤医の会全国協議会会長賞の受賞者は以下の方々です。

【個人部門】

- ・ 下古立正美氏(鹿児島農政部経営技術課)「青果用さつまいも(安納いも)生育不良圃場における土づくり改善指導」
- ・ 忠地真吾氏(株式会社松本微生物研究所)「土壌診断に基づく VA 菌根菌を活用したネギ栽培指導」
- ・ 古畑俊治氏(土壤医の会全国協議会会員)「長芋栽培における連作障害の検証と効果的な有機栽培の確認」
- ・ 小島智行氏(北海道オホーツク土壤医の会会員)「堆肥を利用した土づくりと施肥コストの削減」

【土壤医の会部門】

- ・ 小川孝行氏ほか 11 名(日本肥糧土壤医の会)
「群馬県藤岡市桜山公園におけるフユザクラ樹勢回復及び新植健全生育対策」
- ・ 長谷川雅義氏代表
(新潟県土壤医の会)「2019 年度活動実績」



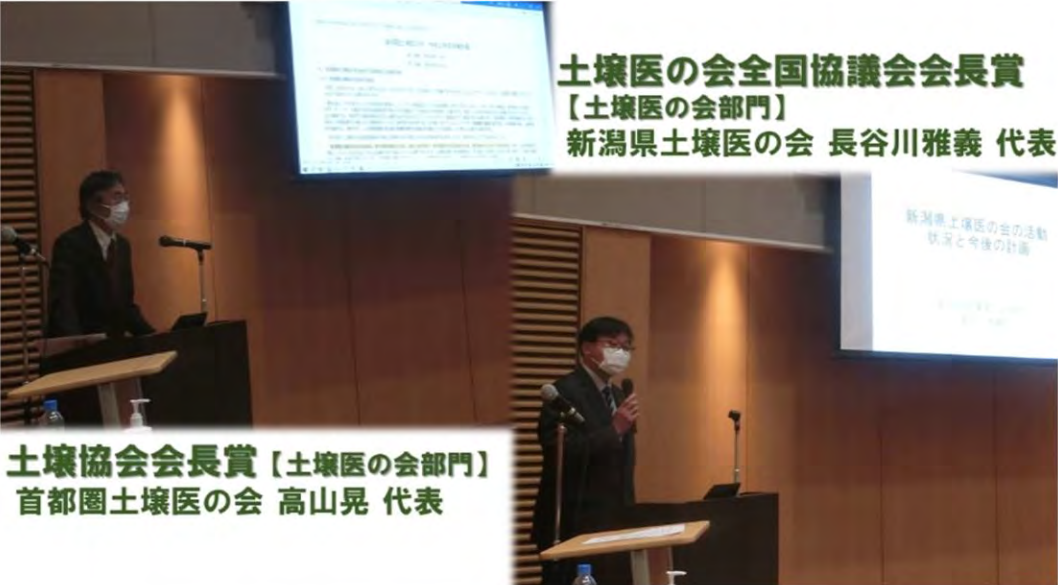
経営概要
 ・経営面積 32.5ha
 ・作付品目 てん菜、馬鈴薯、小麦、たまねぎ、ごぼう




当農場の年度別施肥量と肥料コストの推移

年度	肥料銘柄	施用量 (kg/10a)	施肥成分 (kg/10a)				肥料代 (円/10a)
			N	P	K	Mg	
H26	S119	130	14.3	27.3	11.7	5.2	14,658
H27	BB5119	130	14.3	27.3	11.7	5.2	11,852
H28	BB5315	130	16.9	27.3	6.5	3.9	12,948
H29	BB5315	130	16.9	27.3	6.5	3.9	12,948
H30	単肥配合	110	14.9	18.6	6	6	9,344
前平均	S119	160	17.6	33.6	14.4	6.4	18,040

土壌医の会全国協議会会長賞
北海道オホーツク土壌医の会会員
小島 智之 氏
 堆肥を利用した土づくりと施肥コストの削減



土壌医の会全国協議会会長賞
【土壌医の会部門】
新潟県土壌医の会 長谷川雅義 代表

土壌協会会長賞【土壌医の会部門】
首都圏土壌医の会 高山晃 代表

【地域土壌医の会活動報告】

土壌医の会の部門で土壌協会会長賞を受賞した首都圏土壌医の会の会長高山晃氏、土壌医の会全国協議会会長賞を受賞した新潟県土壌医の会の会長長谷川雅義氏、北海道から駆けつけてくださった札幌土壌医の会の会長根本浩氏により、活動報告をしていただきました。

【2020年に設立された土壌医の会】

- ・宮崎土壌医の会
- ・イノチオ土壌医の会
- ・豊田土壌医の会
- ・秋田土壌医の会
- ・両総土壌医の会
- ・日東エフシー土壌医の会



札幌土壌医の会

新たな土壌医の会が続々誕生しています！

～データ駆動型土づくり推進事業特集～

全国12県で現在事業が行われています。

- ◇青森、秋田、新潟、茨城、埼玉、千葉、長野、静岡、兵庫、香川、福岡、宮崎の12県で実施中。
- ◇3000圃場での実施を目標に進めています。
- ◇事業推進に先立ち、地域によっては、土壤医資格登録者等を対象に、貫入式土壤硬度計での測定法等の現地研修会が行われました。
- ◇採取した土壤サンプルについては、茨城県（片倉コープアグリ(株)筑波総合研究所）と長野県（株松本微生物研究所）の2か所の分析機関で、化学性の分析と土性の測定を行っています。
- ◇測定結果や圃場カルテ等に基づき、今後、実施地区の作物生育等の劣る要因を明確化するとともに、処方箋を提示し、改善を図っていきます。
- ◇測定データや改善結果等はデータベース化し、今後の指導に活用していくこととしています。

・千葉県チームのご紹介

10月に雨天が続いた影響で、サツマイモの収穫が11月にずれ込んだり、ニンジンなど主要作物の生育が遅れていることにより、予定より調査が遅れ気味ですが、首都圏、両総、柏土壤医の会会員が中心となり、産地の皆さんや種苗店等の協力を得て、現在千葉県では、精力的に土壤採取や土壤物理性の測定が行われています。

佐倉市のヤマトイモやラッカセイの圃場で、土壤採取と土壤物理性の測定を行っている様子です。中央の写真は、この日ヤマトイモの収穫をされていた生産者さんに、デジタル貫入式土壤硬度計の画面を見てもらいながら、土壤物理性の測定を行っているところです（2020年11月7日）。



調査に先立って、調査の概要・進め方を理解し、貫入式土壤硬度計や山中式土壤硬度計、採土管などの使い方を習得するための現地研修会が行われました。

（2020年10月15日、佐倉市の土壤医・鈴木氏の自宅作業場にて）





↑香取市のサツマイモ圃場での土壌物理性測定（2020年11月11日）。



↑富里市、山武郡芝山町、八街市の圃場での土壌採取と土壌物理性の測定（2020年11月16日）。

★土壌医の会の皆様の活躍が調査の原動力となっています！

❁ 皆様の声をお聞かせください！

【土壌医の会通信への投稿やご意見・ご要望は kouno@japan-soil.net へお願い致します。】

